

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	令和3年10月18日	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	令和3年11月30日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	令和4年12月1日
--------	------------	--------------------------------	------------	-----------------------	-----------

想定リスク	自然災害(台風・ゲリラ豪雨・降雹・大雪等) ・作物は冠水し、病害、生育不良、全滅 ・暴風雨・大雪による施設の破損など 農作物が収穫できないことで収入面での影響
-------	--

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	日頃からリスクに備える…リスクの把握や予防に備える(施設などはビニペット・TAバンド・フィルム等確認)
2	台風等の直前の対策…露地の作物などは溝を切るなど準備、排水路の確認
3	被災後の復旧…いち早く災害の状況を把握し、保険、施設メーカーへ連絡する

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	①圃場、施設の状況確認 ②圃場が冠水時に速やかに排水溝を作りポンプアップ ③電源を確認し手動に切り替える
目標復旧時間	1日～3日

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	停電により施設の制御盤の使用不能	発電機の仕様 天窓など手動切り替え
ガス	火災の恐れがある	農業用プロパンは元栓を占め二次災害を防ぐ
水道(農業用水含む)	停電により深井戸用ポンプの使用不能	発電機などで代用
情報通信	繋がりにくくなる恐れがある	市町村の防災無線、テレビ、ラジオ、携帯電話の緊急通報メールなど
交通	大雨や浸水等 大雪による道路などの通行止め	市のハザードマップなどを参考に日頃から確認しておく
ほ場等	大雨などによる冠水や土砂崩れなど	二次災害を防ぐため圃場や用排水路には近寄らない
その他	燃料が不足する恐れ・施設の温度管理	ガソリンや石油などの燃料を確保しておく

4. 事前対策の実施状況

分類	内容
ヒト	安否確認手段 携帯電話で確認又は住居確認(近い場合) 連絡体制 携帯電話を使って連絡を取る(LINE)
	避難場所 作業場
	欠員時の対応 仲間の農業者にお願いする
	その他
モノ	設備使用不可時の対応 非常用電源(発電機等)を準備し必要なものに接続、あるいは手動に切り替える
	調達支障時の対応 事前に災害時の停電等に備え、非常用電源の燃料などを確保しておく
	その他
カネ	手元資金 ある程度の現金を備えておく
	その他 備考
セーフティネット	保険加入 ●●保険、●●保険
	その他 備考
情報	重要情報保管場所 ●●とパスワード、紙ベースの情報の保管場所を共有する
	IC等使用不可時の対応 スマートフォンで代用する
	その他
地域連携	地元農家の連帯や消防団の協力

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
A氏(B氏)	A氏(B氏)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員 家族を含めた安否確認	A氏
建物・設備 ITを含む状況	A氏
その他事業資源 肥料・飼料・農薬等の在庫	A氏
取引先 状況確認	A氏
インフラ 電気・ガス・水道・交通等の状況	A氏
その他	

○備蓄品の状況

品名	内容	貴重品(通帳、印鑑、健康保険証)
救急箱	ばんそうこ、包帯、消毒液、常備薬	
飲料水	水2ℓ×6	現金
食料	カップ麺、缶詰、ビスケットなど	懐中電灯、ラジオ、充電器
ヘルメット	ヘルメット、マスク、軍手を用意	毛布・タオル・衣類

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	予想される災害に応じて、時差出勤、帰宅、自宅待機
在宅時	連絡を待って自宅待機
その他	

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①圃場が冠水時は速やかに排水溝を作る →エンジンポンプ等で、圃場の排水を良くする	①A氏
②施設の電源を確認する →制御盤などの使用不能など →発電機などを使用し電源を確保する 手動切り替えにし使用する	②A氏
③状況を確認し収穫 →収穫できる場合は速やかに動く →収穫後、殺菌剤等で防除を行うなど	③A氏

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。